

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **239** 号

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2015年5月27日配本 定価3780円(本体3500円+税) ドミニク・シュナペール 著／中嶋 洋平 訳 市民の共同体 国民という近代的概念について ★ 「国民(ネイション)とは何か?」という問いに答えることは、「民族」や「国家」とは異なる、近代社会の政治的プロジェクトとしての「市民の共同体」の理念を明らかにすることである。20世紀の戦争と国際政治の経験を踏まえつつ、ナショナリズムや民族的・宗教的帰属の問題を正しく理解し、乗り越えるための議論を提示した、現代民主主義論の必読文献。待望の邦訳。 ☞ B.アンダーソン『想像の共同体』(NTT出版)やE.ゲルナー『民族とナショナリズム』(岩波書店)と並ぶ「国民」論の定番。	四六上製・300頁 《叢書・ユニベルシタス1026》 ISBN978-4-588-01026-2 C1331
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2015年5月25日配本 定価3024円(本体2800円+税) ハニフ・クレイシ 著／武田 将明 訳 言葉と爆弾 ★★ なぜ神と正義の名のもとに冷酷なテロや殺戮に手を染め、憎悪の連鎖へと世界を巻きこむのか。映画から小説まで幅広く活躍する作家が、パキスタン系というみずからのアイデンティティとの葛藤のなかで、移民の子供たちがイスラム原理主義に傾倒する背景を、痛ましいほどの皮膚感覚で受け止め、神学や思想の言葉ではなく、現代の郊外を生きる人間の言葉で表現する。エッセイと小説をあわせて収録。 ☞ 関連書:2015年6月の新刊C.ヨブケ『ヴェール論争』。E.セゼール『ニグロとして生きる』(小局刊)ほか。	四六判上製・232頁 《サビエンティア39》 ISBN978-4-588-60339-6 C1398
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2015年5月下旬配本 定価3240円(本体3000円+税) クリスチャン・ヨブケ 著／伊藤 豊、長谷川 一年、竹島 博之 訳 ヴェール論争 リベラリズムの試練 ★★ ヨーロッパ社会とイスラム移民の政治的・社会的な軋轢が増えている。本書はムスリム女性のヴェールを容認するイギリス、法律で禁止したフランス、キリスト教国家を前面に押し出すドイツの移民政策や受容と排除の問題を示す。著者はヴェールをアイデンティティを映す鏡ととらえ、自分とは何者かを直視し、どのような社会を持ちたいのか再考しなければならないと訴える。 ☞ 関連書:C.ヨブケ『軽いシティズンシップ』(岩波書店)、J.W.スコット『ヴェールの政治学』(みすず書房)ほか。	四六判上製・256頁 《サビエンティア40》 ISBN978-4-588-60340-2 C3331
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2015年5月中旬配本 定価5832円(本体5400円+税) コックリル 浩子 著 二葉亭四迷のロシア語翻訳 逐語訳の内実と文末詞の創出 ツルゲーネフの短編小説『あひまき』や『めぐりあひ』など、ロシア文学の逐語訳の翻訳を通じて近代日本語文学に決定的な革新をもたらした二葉亭。その貢献の内実を、忘れられがちなゴーゴリ作品群にも光をあてて詳細に跡づけ、過去形の文末詞「た」の創出や三人称文体の変遷、のちの文学者たちへの影響も含めて分析した翻訳研究の力作。「言文一致」はなぜ、翻訳を通じて可能になったのか? ☞ 関連書:2015年5月重版出来! 柳文章ほか編、コックリル 浩子ほか著『日本の翻訳論』ほか。	A5判上製・374頁 ISBN978-4-588-47005-9 C1090
-------	----	---	---

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。